

100号記念

# ふれあいKAWACHIネット

## 第100号記念特別号の発行にあたって

この度、「ふれあいKAWACHIネット」第100号を発行する運びとなりました。この記念すべき節目を、ふれあい学習、生涯学習、社会教育に携わる皆様方と迎えることができますことを、たいへん喜ばしく思います。

さて、この「ふれあいKAWACHIネット」は、県内の各教育事務所に「ふれあい学習課」が設置されました平成13年に、河内教育事務所ふれあい学習課 初代課長 小堤 正二 先生のもと、創刊されました。第1号の発行以来、ふれあい学習に関する実践事例、管内の社会教育主事有資格者、及び社会教育主事講習修了者の紹介、各種研修の報告等の記事を掲載し、皆様の主体的な学びや、多様な人々とのつながりづくりのお手伝いをさせていただいております。

今号では、100号記念特集として、ふれあい学習課が設置された当時、県生涯学習課社会教育主事としてその設置に寄与された、真岡工業高等学校 校長 井上 昌幸 様から、「ふれあい学習課誕生の秘密」について、宇河地区生涯学習研究会 会長 宇都宮市立平石中央小学校 校長 高田 玄 様から、「『ウェルビーイング』の実現に向けた生涯学習・社会教育の推進のために」について、お話を伺っております。

これからも河内教育事務所ふれあい学習課は、「自己を高める（自立）」「多様な主体がつながり、参画する（協働）」「活力ある地域を創る（創造）」の3つの方向性から、ふれあい学習や生涯学習・社会教育を推進して参ります。引き続き、皆様の御支援を賜りますようお願いいたします。

### 100号記念 特集その1

## 井上校長先生に突撃！！ふれあい学習課誕生の秘密とふれあい学習課に寄せる想い

本紙が創刊されました平成13年度に、県内の各教育事務所にふれあい学習課が設置され、現在の生涯学習・社会教育の推進体制が整備されました。当時、県生涯学習課で社会教育主事として当課の立ち上げから関わっていらしたのが、栃木県立真岡工業高等学校 井上 昌幸 校長先生でいらっしゃいます。そこで、100号の発行を記念しまして、井上校長先生からお話を伺いました。

井上校長先生（以下、井上校長）

森美佑紀社会教育主事（以下、森み）

森み：ふれあい学習課設置の経緯を教えてください。

井上校長：教育事務所が管内市町を広域的に支援することを目指して、平成12年まで市町村に配置していた派遣社会教育主事を事務所に置き、ふれあい学習課を設置しました。

森み：どうして「ふれあい学習課」という名称になったのですか？

井上校長：新しい課を新設するにあたり、当時の県教育長から、「ひらがなで、親しみやすい、やわらかい名前を」という要望があり、現在の「ふれあい学習課」となりました。

森み：ふれあい学習課に求められていることは何ですか？

井上校長：平成13年と比べると事務所の社会教育主事の数は半減したものの、栃木県は、今でも日本で一番多く事務所に社会教育主事を配置している県です。市町にきめ細やかな支援ができること、それが栃木県の強みです。これからも、「広域的」「先駆的」「包摂的」な視点から、市町の社会教育行政を支援することが、ふれあい学習課に求められています。

森み：ふれあい学習課の今後のミッションは何ですか？

井上校長：①子どもを核とした活動の振興とそれに通じた地域づくり支援の充実、②学校への具体的な支援の充実、③市町行政や社会教育関係団体への具体的な支援の充実、そして、④社会教育人材の養成、活動機会の拡充、これらがふれあい学習課のミッションです。

森み：最後に、ふれあい学習課職員に一言お願いします。

井上校長：ふれあい学習課は、地域や家庭の教育力の向上を目指し、市町を巻き込んで地域づくりに取り組んでいく必要があります。そのことはやがて地域のつながりをつくり、仲間づくりにつながっていきます。ふれあい学習課、県生涯学習課、総合教育センターが力を合わせてふれあい学習の推進に取り組んでいけるとよいですね。

井上校長先生、貴重なお話を  
ありがとうございました。

 真岡工業高等学校にて



### 100号記念 特集その2

## ～「ウェルビーイング」の実現に向けた生涯学習・社会教育の推進のために～

人生100年時代を迎え、経済的な豊かさのみならず精神的な豊かさから幸福や生きがいをつめる「ウェルビーイング」を目指し、誰もが生涯を通じて意欲的に楽しく学び続ける社会の実現が求められています。このためには、一人一人の生活と地域づくりを支える「学びと実践」の機会と場を提供する役割を社会教育人材と施設が連携して担うことが重要になります。そこで、その中心となる社会教育主事有資格者（社会教育士）には、以下のような役割が期待されています。

- 公民館や生涯学習センター等での地域人材や地域資源に精通した取組のコーディネート
- 地域のヒト、コト、モノや、地域の思いや願いを多くの人に分かりやすく伝え、共感を得ていく
- 異なる他者同士が相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係（協働）への調整



文部科学省生涯学習  
イメージキャラクター  
「マナビィ」

生涯学習・社会教育の推進のため、管内の社会教育主事有資格者（社会教育士）がそれぞれの立場で持ち味を十分に発揮し、地域の特色を活かした学校と地域の連携活動や地域行事、公民館及び生涯学習センター等における学びの機会に、「ウェルビーイング」の実現に向けた「つながりづくり」を進めていきたいと思います。

宇河地区生涯学習研究会長 宇都宮市立平石中央小学校長 高田 玄